					77-7	DTA \		_				
事務事業名 佐野市遺跡地図作成事業									本年度担当課	文化財課		
争伤争未右									前年度担当課 文化財保護係			
	基本目標	02	新たれ	な流れ	れの創造による肌	最わうまちづく	IJ				新規・継続	新規事業
政策	政策	03	歴史	・文化	化を守り育てるま	きちづくり					実施計画・一般	実計計画事業
体系	施策	02	歴史	・文化	比資源の保存と糾	迷承				事	市単独・国県補	助国県補助事業
	基本事業	01	歴史	・文化	比資源の調査と通	適切な保存・継	承			業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名			区	実施方法	一部委託
科目	一般	10	04	05	佐野市遺跡地図	作成事業				分	事業分類	計画策定・管理事業
事業計画 期間限定複数年度 事業期間 令和4年度 ~ 令和7年度									市長公約	該当なし		
 									卫仙/牛皮		総合戦略	該当なし
根拠	根拠法令・条例等 文化財保護法第95条第1項、佐野市文化財保護条例第47条第1項											

1. 事務事業の現状把握【DO】

	١.	事務事業の現状批准【№】											
_	<u> </u>)事務事業の手段・目的・結果・各指標											
(1)	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)				
	ı	佐野市域内の埋蔵文化財包蔵地の範囲について、	佐野市遺跡詳細分布調査業務委託 実施										
		現地踏査・確認を行い市域全体をカバーする遺跡	旧田沼の一部で実施										
		地図を作成する。令和4から6年度で現地踏査を											
		実施し、その整理・編集を行い令和7年度に『佐											
		野市遺跡地図』を刊行し、埋蔵文化財保護行政の											
		基本ツールとして頒布・活用する。刊本と併せて											
		電子データの作成も行いデジタル化への対応も行	活動指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		う。				(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
			現地調査面積		<u>km²</u>		118	237	356	356			
			佐野市遺跡地図作成済面	1 積	km		84	84	84	356			
L													
	- 1	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	⁻ か?)										
		①市内全域	対象指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度			
		②埋蔵文化財包蔵地			(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)				
			市域面積		km [*]		356	356	356	356			
			埋蔵文化財包蔵地		箇所_		602	602	602	602			
	目	②辛岡 / = の事改事世に と *** *** *** *** **** **** **********											
	551 L	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	, <u> </u>									
		遺跡地図が作成されることにより、市民・事業者	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		に包蔵地の範囲を明確に示し、適切な対応・指導	44回にこゆきなど 田幸										
		をすることにより、埋蔵文化財の保護に努めることができる。	地図に反映された埋蔵 文化財包蔵地	箇所	目標実績	403	403						
		2 n C 2 8 .	文化財己戲地		日標	403	403						
					実績								
	<u> </u>	結果 (どのような結果に結びつけますか?)			大順								
		①歴史・文化資源を掘り起す。											
		①歴史・文化資源を掘り起す。 ②歴史・文化資源を適切に保存し継承する。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			文化財候補物件等の調		目標								
			査及び報告件数	件	実績	5	6						
			指定文化財の維持管理	7.1	目標								
			、保存修復等件数	件	実績	36	46						
					, , , , ,								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		1, 131		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0	•••••	0		0
		その他	千円		0	3, 000			0		0		0
		一般財源	千円		0		813		0		0		0
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		0		4, 944		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費	事業費の 内訳				委託料	4, 944						
入	貝												
量													
			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	と		0		0. 2		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		0		1, 457		0		0		0
	1-5	タルコスト (A) + (B)	千円		0		6, 401		0		0		0

事務事業名	佐野市遺跡地図作成事業	本年度担当課	文化財課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	文化財保護係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	旧田沼・旧葛生区域については、埋蔵文化財包蔵地の範囲を示す地図がなく、適切な対応に 苦慮している。また栃木県教育委員会から県内均一な対応を求める観点から、再三、地図の 作成を指導されている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	開発行為等に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会件数は増加傾向にあり、今後も極端な減少は考え
県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように	られない。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	窓口対応の際に、埋蔵文化財包蔵地の範囲が地図によって示せず対応・説明に時間を要した
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	。また、遺跡地図の電子化を求める声もある。
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	日 2 3 3 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	令和4年度から実施

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	T	小		
		成果向上余地				

					7-1	<i>7</i>			•		
車級	(車 学 夕	唐》	マ山坂	战跡仍	R存整備事業					本年度担当課	文化財課
事務事業名										前年度担当課	唐沢山城跡保存整備係
	基本目標	02	新たフ	な流れ	れの創造による馴	最わうまちづく	IJ			新規・継続	継続事業
政策	政策	03)	歴史	・文化	化を守り育てるま	きちづくり				実施計画・一般	実計計画事業
体系	施策	02 J	歴史	・文化	化資源の保存と維	迷承			事	市単独・国県補	助国県補助事業
	基本事業	01 J	歴史	・文化	化資源の調査と通	適切な保存・継	承		業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	一部委託
科目	一般	10	04	05	唐沢山城跡保存	整備事業			分	事業分類	その他市民に対する事業
事業計画 期間限定複数年度 事業期間 平成26年度 ~ 令和11年度									市長公約	3-5	
李未前四 朔间欧足陵数千皮 李未朔间 干灰20千皮 节和11千皮									総合戦略	該当	
根拠法令・条例等 文化財保護法											

1	事務事業の現状把握【DO】								
(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
(1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	£)	
	誇れる郷土の歴史的文化遺産である唐沢山城跡	・ (令和3年度より繰越		.西虎口	1において	(、令和2:	年度に解	体した石	垣の積み
	はその貴重性を認められ、平成26年3月に国指	直し工事を実施(11~	~1月)						
	定史跡化が実現した。史跡化後は長期に亘る適切	・石垣積み直し工事に住		亘背面:	等の調査	· 記録化	作業を直	営及び	一部業務
	な保存と管理が求められるが、本城を象徴する石	委託で実施(10~3月	•						
	垣ですら崩落等が危惧される状況にある。貴重な	・史跡唐沢山城跡保存園							44 - 0
	文化遺産を適切に保存管理しながら、歴史・文化	・史跡唐沢山城跡保存割	を備調 す	114					
	を活かしたまちづくりにおいて活用していくため	活動指標		単位		R4年度		R6年度	R7年度
	にも保存整備事業の推進を図る。	保存整備調査指導委員会	>目1/世	□	<u>(実績)</u> 3	<u>(実績)</u> 3	(目標)	(目標)	(目標)
		各種設計・整備工事	田川佳	<u>出</u> 件	1	1	2	2	2
		講演会・講座等		<u></u> 件	6	0	6	6	6
	 ②対象(この事務事業は誰・何を対象としています						U	U	
	① 唐沢山城跡		Т		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	②市民	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		史跡面積		m² 1,		941, 923,			
		今後保存が必要な面積		m	11, 327	11, 327	11, 327	11, 327	11, 327
		市民数(人口)		人	116, 982	114, 401	113, 710	113, 018	112, 327
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	は状態にしたいのですか?	')						
P :	①史跡の保存や沽用のための各種実施設計を行	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	い、整備工事や業務委託を実施する。		丰区		110千皮	八十尺	10千皮	10千皮	八十尺
	②唐沢山城跡について情報を発信し、史跡の重要	各種整備工事の実施	件	目標					
	性や保存整備の必要性についての理解向上を図		''	実績	1	1			
	る。	講演会・講座等参加者	件	目標	0	98			
	 			実績	0	98			
4	結果(どのような結果に結びつけますか?) 								
	│・文化財を適切に保存・継承するとともに、多様 │ な活用を図る。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	なわかを図る。 ・市民が歴史・文化資源について学び、保存活用	適切に保存・継承され		目標					
	に関する活動に参加する。	ている指定等文化財件	件	実績	269	275			
		ボランティア養成講座		目標		2,0			
		実施やボランティア活	件	実績	59	98			
_									

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0		18, 201		0		0		0
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		0		18, 201		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費					工事請負費	12, 588						
入	貝	事業費の				委託料	4, 798						
量						報償費	330						
			千円			旅費	207						
		内訳				使用料及び賃借料	154						
						共済費	68						
						需用費	56						
	싰	職員従事工数	人工		0		4		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		0		29, 148		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		0		47, 349		0		0		0

事務事業名	唐沢山城跡保存整備事業	本年度担当課	文化財課
尹衍尹未有		前年度担当課	唐沢山城跡保存整備係

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
①この事務事業は、いつ頃、	平成26年3月18日に唐沢山城跡の国指定史跡化が実現したことにより、長期的な史跡の保存					
どのようなきっかけで開始しましたか?	と管理の基本方針や、その後の整備や活用に向けた計画を策定する必要が生じたため、平成					
とのようなさらかりで開始しましたが!	26年度より事業を開始した。					
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	近年、石垣の一部が崩落するなど保存状態の劣化が進行しつつあり、修復や保存整備に向け					
県などの法令等、社会情勢など)は	た取り組みを行う緊急性・必要性が高まっている。文化庁の指導について、従来は史跡の保					
事務事業の開始時期と比べてどのように	存管理が主であったが、現在では整備・活用を重視することが求められるになってきている					
変化していますか?	。また、国指定史跡化以降、唐沢山城跡への来跡者は増加しており、さらに平成29年度の全					
③この事務事業に対して、当該年度中、	国指定史跡化や全国山城サミットin佐野開催を契機として唐沢山城跡への市民の関心が高ま					
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	│っており、史跡整備に関して、石垣の保存、環境整備、遊歩道等整備、案内板の設置、ガイ│					
からどのような意見・要望がありますか?	ダンス施設の設置、根小屋での史跡公園整備等の要望が、市議会、市民、来跡者等から多数					

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

() IN TOTAL MARKET STATE STATE							
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組						
前午及び計画相木	計画相求を支げて引うた共体的な改革 以音の状態						

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 事務事業の事後評価【Uneck】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
			成果向上余地がある程度ある
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容

	, <u> </u>	T画和来の応加と 予後の分詞注 [ACCTON]									
	((1) 事務事業の評価結果			(2)今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策					
	大										
	ॏ॒				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。						
	製中										
F	‡										
J.	[]										
	小										
		大	中	小							
		成	果向上余	:地							

					77-1	DTA \	ソファフ				
車数	z 車 柴 夕	天命	介鋳物	7伝承	《保存会記録化活	動支援事業				本年度担当課	文化財課
争物	事務事業名							前年度担当課	文化財保護係		
	基本目標	02	新たフ	な流れ	れの創造による ^脈	最わうまちづく	IJ			新規・継続	継続事業
政策	政策	03	歴史	・文化	化を守り育てるま	きちづくり				実施計画・一般	実計計画事業
体系	施策	02	歴史	・文化	比資源の保存と維	迷承			事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	01	歴史	・文化	比資源の調査と通	適切な保存・継	承		業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	10	04	05	天命鋳物伝承保	存会記録化活動	動支援事業		分	事業分類	支援事業
車:	事業計画 #BB四户複数左连 事業期間 亚代01左连 A和4左连								市長公約	該当なし	
事 :	事業計画								総合戦略	該当なし	
根拠	根拠法令・条例等 文化財保護法、文化財保護条例										

1. 事務事業の現状把握【DO】

		事物事業の現代に唯 【100】								
_) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
	1)	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	?)	
		歴史・文化資源の調査と適切な保存と継承のため	(市の活動)							
		、天命鋳物伝承保存会で取り組む、国指定民俗文	国指定民俗文化財を目指							
		化財を目指した生産用具の記録化に関係する活動	録化に対する疑義対応や	5指導	(随時)	/文化庁訓	査官によ	くる指導 <i>の</i>)調整と第	€施(R4.1
		を支援する。	0.20現地調査実施) (エ会結集にる/Pまるの	エチレ						
			(天命鋳物伝承保存会の ・講演会の開催(R4.5.		11 5)					
				/ , N4.		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			関係資料の図面電子化数	t t	点	1, 272	1, 336	1, 336	1. 336	1, 336
			関係資料の写真撮影数		点	1, 272	1, 336	1, 336	1, 336	1, 336
	L	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
		県指定有形民俗文化財「佐野天明鋳物生産用具	対象指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度
		附 製品、文書」				(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		工会结构与3.0	佐野天明鋳物生産用具		点	1, 173	1, 173	1, 173	1, 173	1, 173
		天命鋳物伝承保存会								
	⋾ ├	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	<u> </u> 	<u> </u>						
É	M L	文化財の後世への継承に有効であり、国指定化の								
		実現を目指した諸作業の報告書となる調査カード	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		の作成を前進させる。	調査カードの編集総数	11	目標					
				枚	実績	1, 272	1, 336			
					目標					
	┙				実績					
	_	結果(どのような結果に結びつけますか?)			,					
		佐野市の歴史と伝統を知ってもらい、文化財保護	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		の意識高揚を図るとともに、郷土の伝統工芸に関			- t#	, ,,,			, ,,,	, , ,
		わる文化財を後世に伝承させる。	│適切な保存・継承をす │る指定等文化財件数	件	目標実績	269	269			
			る旧た守久 に別 計数		日標	209	209			
					実績					
			L	1	人们只					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)				
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0				
		県支出金	千円		0		0		0		0		0				
		地方債	千円		0		0		0		0		0				
		その他 千円			0		0		0		0		0				
		一般財源	千円		0		68		0		0		0				
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		0		68		0		0		0				
	事業	事業費の千円		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費				
投	業費					報償費	68										
入	貝																
量																	
			千円														
		内訳															
	人	職員従事工数	人工		0		1. 75		0		0		0				
	件	人件費計(B)	千円		0		12, 752		0		0		0				
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		0		12, 820		0		0		0				

ſ	事務事業名	天命鋳物伝承保存会記録化活動支援事業	本年度担当課	文化財課
ı	争伤争未有		前年度担当課	文化財保護係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、	天命鋳物伝承保存会より、同会が取り組んでいる県指定有形民俗文化財「佐野天明鋳物生産
どのようなきっかけで開始しましたか?	用具 附 製品、文書」の記録化活動について、繰り返し行政の理解と支援を求める声が寄せられ、令和元年度に支援事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	平成30年度に、文化財保護法が改正され、これまでの保護中心の内容から、保護·活用の両立の転換を図る転換が行われた。近年、国をはじめ各自治体で文化遺産を活かしたまちづく
事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	りが推奨されるなど、地域の文化遺産に対する関心が高まっていくものと考えられる。
③この事務事業に対して、当該年度中、	天明鋳物生産用具の国指定化を目指した取組や、天明鋳物を活かしたまちづくりに関して、
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	市議会での質問があった。平成28年には、「佐野天明鋳物のまちづくり推進計画」も策定し
からどのような意見・要望がありますか?	ている。(平成30年に第2次、令和4年に第3次計画をそれぞれ策定)

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 的十及の計画相外に対する数十 、公日の水恒								
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組							
	天明鋳物生産用具の国指定文化財化に向け、文化庁調査官を招聘し、現地調査を行い、資料 カード作成内容や国指定化への課題、及び資料の保存・保護等について指導を受けた。							
	THE THREE TH							

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
文化庁調査官から指導を受け、ま	た市により適切な指導を行い、資	料の精度を高めることができた。	成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
文化庁調査官から指導を受け、ま料の精度を高めることができ、資	た市により適切な指導を行い、資料記録化が概ね終了した。		

	(1)事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大			0	事業終了	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中					
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					 1	カチ木ヽ	11/					
車級	z 車 柴 夕	文化	比財係	R護 霍	F議会運営事業					本年度担当課	文化財課	
争仍	事務事業名									前年度担当課	文化財保護係	
	基本目標02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり								新規·継続	継続事業		
政策	政策	03	歴史	・文化	化を守り育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業	
体系	施策	02	歴史	・文化	比資源の保存と維	迷承			事	市単独·国県補	助 市単独事業	
	基本事業	01	歴史	・文化	比資源の調査と通	適切な保存・継:	承		業	任意・義務	義務的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営	
科目	一般	10	04	05	文化財保護審議	会運営事業			分	事業分類	審議会等運営事業	
車:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~								市長公約	該当なし		
尹之	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~									総合戦略	該当なし	
根拠》	根拠法令・条例等 佐野市文化財保護条例、佐野市文化財保護条例施行規則											

1. 事務事業の現状把握【DO】

1		事務事業の現状把握【DO】												
	(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標												
	1):	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
	ſ	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u>!)</u>					
		地方自治法、佐野市文化財保護条例に基づき、教	第1回文化財保護審議会	を実施	(7月12	2日)								
		育委員会の附属機関として文化財保護審議会が設	62回文化財保護審議会を実施(2月24日)											
		置されている。審議会は、教育委員会からの諮問	例年、第2回文化財保護							「委員の				
		を受け、文化財の保存・活用について調査・審議	の先進地視察研修は新雪	の先進地視察研修は新型コロナウィルス感染症対策のため中止した。										
		し、教育委員会に建議する諮問機関であり、その												
		事務執行に伴う経費を計上する。又、委員の資質				D0 /= ri=	D4 /= ris	DC 선 선	DC #= #=	D7 /= ri=				
		向上のため先進地視察研修を実施する。	活動指標		単位	R3年度	R4年度		R6年度	R7年度				
			審議会開催数			<u>(実績)</u> 2	<u>(実績)</u> 2	<u>(目標)</u> 2	<u>(目標)</u> 2	<u>(目標)</u> 2				
			審議会委員延べ出席者数	ikt	人	17	16	20	20	20				
			田城五安只是 田州日外	^ 		17	10	20	20					
Г	1	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	-か?)											
	ŀ	①文化財保護審査会委員	114161		224 / L	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		②市内全域	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)				
		③市指定文化財	審議委員数		人	9	9	10	10	10				
			市域面積		k m ²	356	356	356	356	356				
E	╕┞		市指定文化財		件	185	185	185	185	185				
Á	ηL	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)										
		①審議会が活動しやすい環境を提供する。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		②市内の文化財の中から重要なものを指定し、適切な得力。	京業人チョル英家	—	- H	22								
		切な保存・保護を援助し、積極的に活用する。 ③文化財の所有者・管理者に対して防火査察など	審議会委員出席率	%	目標 実績	94	89							
		おのが有有・管理者に対して前人量祭など を通し文化財愛護思想の啓発を行い、適切な保存	 防火査察件数		目標	34	09							
		を促す。	例入且示 数	件	実績	0	0							
(4)	結果 (どのような結果に結びつけますか?)			J < 130									
	~_	①歴史・文化資源を掘り起こす。		24.17		D0 4= c+	D4 45 65		DC #= #=	D7 /= r/=				
		②歴史・文化資源を適切に保存し継承する。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
			文化財候補物件等の調	件	目標									
			査及び報告件数	it.	実績	3	1							
			指定文化財の維持管理	件	目標									
			、保存修復等件数	_ ''	実績	48	48							
	, _	ン 公古世帯の世紀 中田												

_ `		心中不良切几	<u> </u>	7 10/0									
		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0		124		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0		124		0		0		0
				項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費					報酬	122						
入	貝					需用費	3						
量		事業費の											
		事未負の 内訳	千円										
		内机											
	싰	職員従事工数	人工		0		0. 33		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		0		2, 405		0		0		0
	h-5	ルコスト (A) + (B)	千円		0		2, 529		0		0		0

ſ	事務事業名	文化財保護審議会運営事業	本年度担当課	文化財課
ı	争伤争未有		前年度担当課	文化財保護係

①この事務事業は、いつ頃、	文化財保護法が昭和25年に施行され、全国的に文化財保護の重要性が認識された。この流れ
どのようなきっかけで開始しましたか?	を受け、各地で文化財保護条例が施行され、文化財保護の在り方や指定・管理等に関し、調
とのようなとうかけで開始しましたが!	査審議を行う目的で文化財保護審議会が設置された。(旧佐野市は昭和32年に条例施行)
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	事務事業開始当初は、指定文化財の数も少なく、保存状態も比較的良好であったため問題は
県などの法令等、社会情勢など)は	少なかった。現在では市指定文化財だけでも約190件あり、所有者の高齢化や交代や市外へ
事務事業の開始時期と比べてどのように	の流出など、文化財を取り巻く環境が大きく変化しており、保存管理に関して適切な対策が
変化していますか?	課題となっている。
③この事務事業に対して、当該年度中、	市指定文化財の所有者から現状変更の申請があり、審議会に諮問し、審議会から答申を受け
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	た。
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 的 1及の計画的水(1) 0 0 0 0	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	「現状維持」の評価を受けた。新型コロナウイルス感染症対策のため、防火査察や先進地視
	察は実施できなかったが、それ以外の事業については滞りなく実施できた。

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
審議委員に対し、文化財に関する のことについても興味を持ってい		を行い、情報共有を図り、専門外	成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成		⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
審議委員の出席率については、第	2回審議会で欠席者が2名でたこと	審議会委員の欠席者が出さないた	めに、早目に開催日を決定・周知
による。 防火査察の件数については新型コ 施できなかったことによる。	ロナウイルス感染症対策により実	する。 防火査察について、令和5年度は9 	実施する予定。

_`	J. p		7 NO 10 C	/ IX V// / / ·	- IT TWO CLOUD	
	(1)事務	事業の評価	価結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
	⋾ ∟				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
3	票 建 中 或			0		
J	美 小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					77-1	DTA \	<u> </u>					
車数	z 車 柴 夕	文化	比財係	く 護部	直事業			,		本年度担当課	文化財課	
事務事業名										前年度担当課	文化財保護係	
	基本目標 02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり									新規・継続	継続事業	
政策	政策	03	歴史	・文化	化を守り育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業	
体系	施策	02	歴史	・文化	比資源の保存と維	迷承			事	市単独・国県補	市単独事業	
	基本事業	01	歴史	・文化	比資源の調査と通	適切な保存・継	承		業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	一部委託	
科目	一般	10	04	05	文化財保護調査	事業			分	事業分類	その他市民に対する事業	
車:	*		出	- 年	:编儿语!	事業期間	亚成17年度。			市長公約	該当なし	
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~										総合戦略	該当なし	
根拠	根拠法令・条例等 文化財保護法、佐野市文化財保護条例											

1. 事務事業の現状把握【DO】

	 (1	1)事務事業の手段・目的・結果・各指標												
	1):	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
	ſ	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	£)					
		指定文化財等に対する適切な維持管理の指導、文	・佐野市指定史跡 (赤見城跡・葛生人骨出土跡・石灰谷焼窯跡) 、佐野市指定											
		化財台帳等の資料整理を行ない、文化財の保存保		天然記念物(木浦原のザゼンソウ群落)の草刈清掃業務委託を行い、同天然記念										
		護に関して必要な措置を講ずるための事務経費及	物やその他の史跡等の際											
		び新たな文化財指定や登録に関する調査、埋蔵文	・文化財調査報告書『佐											
		化財保護のための調査費用を計上する。	• 「唐澤山神社本殿」等											
			科大臣に意見具申し、文	(化番詞	義会か									
			活動指標		単位	代3年度(実績)	K4年度 (実績)	R5年度 (目標)	(目標)					
			 市所管文化財管理実施数	tı	件	<u>(天根)</u> 7	<u>(天根)</u> 7	<u>(日保)</u> 7	<u>(日保)</u> 7	<u>(目標)</u> 7				
			発掘調査数(工事立会含)		件	48	28	30	30	30				
			新規指定・登録文化財数		件	0	1	6	1	1				
r		②対象(この事務事業は誰・何を対象としています		,				-						
	ŀ	①市指定文化財を含めた文化財	北岳北 無		14 /L	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		②埋蔵文化財(遺跡の発掘調査、記録の保存)	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)				
		③市民	指定・登録文化財総数		件	269	269	275	276	277				
			埋蔵文化財包蔵地		箇所	602	602	602	602	602				
	□		市人口	$\downarrow \perp$	人									
	幼	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)										
ľ		①市内に現存する文化財等の適切な保存活用が図られる。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		②開発工事等との調整により埋蔵文化財の破壊を	遺跡照会件数前年比/		目標	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上				
		防ぐ。または記録保存が図られる。	建築確認件数前年比		実績	3	3	101	100	100				
		MA CONCIONADAMENTA EL SACO	法93·94条届出数	111	目標									
				件	実績	85	76							
	<u>4</u>	結果(どのような結果に結びつけますか?)												
		①歴史・文化資源を掘り起す。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		②歴史・文化資源を適切に保存し継承する。		中区		110千戊	114十戊	10十戊	110十戊	八十戊				
			新規に指定・登録され	件	目標									
			た文化財数	- ' '	実績	3	1							
			指定文化財の維持管理	件	目標	40	48							
L			、保存修復等件数		実績	48	48							

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0		1, 445		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0		1, 445		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費					委託料	1, 055						
ᄉ	早					需用費	349						
量	<u> </u>	事業費の				報償費	25						
		事未負の 内訳	千円			旅費	11						
		内訳				役務費	6						
	ř	職員従事工数	人工		0		1. 09		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円	•	0		7, 943		0		0		0
	h-/	タルコスト (A) + (B)	千円		0		9, 388		0		0		0

車致車業々	文化財保護調査事業	本年度担当課	文化財課
尹衍尹未 有		前年度担当課	文化財保護係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	
県などの法令等、社会情勢など)は	
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	
関係者 (市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

() () () () () () () () () ()									
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組								
事業のやり方改善(コストの見直し)									

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 事務事業の事後評価【Check】						
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
		成果向上余地がある程度ある				
	8取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
⑩ A 表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容				
1		1				

	(1) 事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
目	大				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中					
度	小					
		大成	中 果向上余	小 地		

車務車業マネジメントシート

						7 7	<i>777</i>					
指定文化財保存修復支援事業							本年度担当課 文化財課					
丁 沙	予 份争未有						前年度担当課	文化財保護係				
	基本目	摽	02 ş	祈たた	よ流	れの創造による賑	表わうまちづく!	IJ			新規·継続	継続事業
政策	政策	FIN.	03 [歴史_	· 文	化を守り育てるま	きちづくり				実施計画 • 一般	一般事業
体系	施策	II	02 [歴史	· 文	化資源の保存と継					市単独・国県補助	市単独事業
	基本事	業	01 [歴史	· 文	化資源の調査と適	動切な保存・継 え	承		業	任意・義務	任意的事業
予算	会計		款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	一部委託
科目	一般		10	04	05	指定文化財保存	修復支援事業			分	事業分類	その他市民に対する事業
車:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成23年度 ~					市長公約	該当なし					
- 事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成23年度 ~						総合戦略	該当なし					
根拠	根拠法令・条例等 文化財保護法、佐野市文化財保護条例											

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

_(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u></u> })	
	指定文化財等については、破損や劣化したものが								
	数多くあり、文化財の修理修復は多額の費用を要								
	する場合が多く、所有者や管理者単独では負担に								
	堪えない場合があるため、修理修復に係る経費の								
	一部について補助を行い、文化財の適切な保存保								
	護を図る。				/				
		活動指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度		R7年度
		74-37-137			(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	 ②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	-か2)							
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としていより				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
									(口1赤/
_									
目的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	·)						
 ਜ਼ਮ			単位	\Box	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		成果指標 	中四		パン千皮	K4平皮	K0平及	K0年及	K/平皮
				目標					
				実績					
				目標					
	<u> </u>			実績					
4	結果(どのような結果に結びつけますか?) 	T					.	I	I
		上位成果指標	単位	/	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			, ,		~				
				目標					
				実績					
				目標実績					
		l	<u> </u>	天祖					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年月	度 (実統	漬)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)				
		国庫支出金	千円		0			0		0		0		0				
		県支出金 千円			0			0		0		0		0				
		地方債	千円		0			0		0		0		0				
		その他	千円		0			0		0		0		0				
		一般財源	千円		0			200		0		0		0				
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		0			200		0		0		0				
	事業	事業費の			項目	事業費	項目	事	業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費			
投	費										負担金、補助	助及び	200					
入	貝																	
量																		
			千円															
		内訳																
						•••••												
							····											
	싰	、職員従事工数 人工 0				0		0		0		0						
	骨費	人件費計(B)	千円		0			0	0		0		0					
	h-5	タルコスト(A)+(B)	千円		0			200		0		0		0				

事務事業名	指定文化財保存修復支援事業	本年度担当課	文化財課
尹仍尹未有		前年度担当課	文化財保護係

①この事務事業は、いつ頃、	国・県の様々な補助制度が廃止される中、指定文化財の各所有者・管理者からは修復支援の
どのようなきっかけで開始しましたか?	要望があり、また、佐野市が掲げた『観光立市』の施策では、歴史や伝統・文化が重要視され、平成23年度から本事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	経年劣化した文化財が多く、所有者・管理者の修理・維持管理に係る負担は大きい。施策「
県などの法令等、社会情勢など)は	歴史・文化資源の保存と継承」は基本目標「新たな流れの創造による賑わうまちづくり」に
事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	組み込まれており、文化財は「選ばれる佐野市 進化する佐野市」を達成するために必要な資源である。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	文化財の所有者・管理者からは「保存事業については何らかの助成はないか」という意見が 寄せられる。市議会でも、佐野市の歴史・文化に関係した内容の質問事項や佐野市のPRのために文化財等の積極的活用を求める意見が目立ってきている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

() 100 1 X 2011 [mid 1X (- 1)] X 2 X 1 2 X 1 1 2 X								
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組							
前午及び計画相木	計画相求を支げて引うた共体的な改革 以音の状態							

2. 事務事業の事後評価【Check】

2.事務事業の事後評価【Check】						
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない						
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容				

	(1) 事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
目	大				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中					
度	小					
		大成	中 果向上余	小 地		

					 1	ルナヘヽ	1 / / /					
車級	事業名	全国史跡整備市町村協議会参画事業								本年度担当課	文化財課	
争仍	争未有							前年度担当課	文化財課			
	基本目標02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり								新規·継続	継続事業		
政策	政策	03	歴史	・文化	化を守り育てるま	まちづくり				実施計画・一般	一般事業	
体系	施策	02	歴史	・文化	比資源の保存と維	迷承				市単独·国県補	市単独事業	
	基本事業	01	歴史	・文化	比資源の調査と通	適切な保存・継	承		業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営	
科目	一般	10	04	05	全国史跡整備市	町村協議会参画	国事業		分	事業分類	参画事業	
車:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成31年度 ~								市長公約	該当なし		
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成31年度 ~									総合戦略	該当なし		
根拠	根拠法令・条例等 文化財保護法											

1. 事務事業の現状把握【DO】

	1.	事務事業の現状把握【DO】												
	(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標													
	1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)					
	ľ	全国史跡整備市町村協議会(以下、全史協)及び	(市の活動) 全史協 40	, 000円	、全史	協関東地	区協議会	₹ 10,000	円 (R4は:	全額免除				
		全史協関東地区協議会に参画することで、国指定)の各負担金支出。大会	き等へ(の参加し	は新型コ	ロナウイ	ルスの感	染拡大の	影響によ				
		史跡を有し文化財を活かしたまちづくりを推進す	り全て見送った。											
		る全国の市町村 (R4現在623団体) と情報交換や (全史協の活動)大会、臨時大会の開催、会議・研修会の実施												
		連携を図るとともに、文化庁からの指導を得やす(全史協関東地区協議会の活動)総会の開催、研修・視察の実施												
		くなることで、本市の史跡唐沢山城跡の望ましい				D0 /	D4 ====	DC 4- c+	D0 	D7 /- /-				
		整備推進を目的とする。	活動指標		単位	R3年度	R4年度			R7年度				
			機関誌収集数		部	<u>(実績)</u> 1	<u>(実績)</u> 1	<u>(目標)</u> 1	<u>(目標)</u> 1	<u>(目標)</u> 1				
			大会・研修会等参加数			1	0	2	2	2				
			八五 明修五寸多加效				-							
ľ		②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)											
		①唐沢山城跡			** /T	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		②市民	対象指標	単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)					
			史跡面積	ha	194. 19	194. 19	194. 19	194. 19	194. 19					
			今後保存が必要な面積		ha	1. 13	1. 13	1. 13	1. 13	1. 13				
	目		市民数(人口)		人	116, 982	114, 401	113, 710	113, 018	112, 327				
	65	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)										
ľ		①協議会に加盟する市町村との情報交換を図ると	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		ともに、史跡整備に関する最新の情報を得る。	사랑스뉴메+m++ L. A	• -										
		②唐沢山城跡の保存整備と活用に役立てる。	協議会加盟市町村との 情報交換件数	件	<u>目標</u> 実績	5 5	6 2	7	8	9				
			<u> 情報又換件数</u> 唐沢山城跡内における		目標	1	1	1	1	2				
			保存整備件数	件	実績	1	1	'	'					
f	<u>(4)</u>		<u> </u>	l	JC 198	•	•							
		・文化財を適切に保存・継承するとともに、多様				D0 5 ±	D4 = ±	DF 4- #	D0	D7 4				
		な活用を図る。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		・地域の歴史と伝統を知ってもらい、郷土への愛	適切に継承・保存され	件	目標	259	275	275	275	275				
		着を育んでもらう。	ている指定文化財件数	17	実績	269	269							
					目標									
L					実績									

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		C		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		C		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0	40			0		0		0
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		0		40		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業	事業費の				負担金、補助	カ及び 40						
入	負												
量													
			千円										
		内訳											
						•	····	<u> </u>					
						•••••							
	人	職員従事工数	人工		0		. 1		0		0		0
	件	人件費計(B)	千円		0		7, 287		0	0		0 0	0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		0		7, 327		0		0		0

	事務事業名	全国史跡整備市町村協議会参画事業	本年度担当課	文化財課
ı	尹衍尹未位		前年度担当課	文化財課

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成26年度に唐沢山城跡が国指定史跡となり、全国に所在する国指定史跡の整備や活用方法について、情報収集や情報交換をしながら、より良い史跡整備を目指す必要が生じたため令和元年度に加入した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	文化庁からの指導を基本としながら、地域の特性を活かした特色ある史跡整備が求められる
県などの法令等、社会情勢など)は	ようになっている。また、平成30年度の文化財保護法改正により、従来の保護中心から保護
事務事業の開始時期と比べてどのように	・活用の両立への転換が示されており、各自治体での文化遺産を活かしたまちづくりが推奨
変化していますか?	されるなどの変化が起きている。
③この事務事業に対して、当該年度中、	唐沢山城跡の国指定化後、栃木県や宇都宮市、小山市、日光市等から全国史跡整備市町村協
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	議会への参画を強く求められてきた。また、唐沢山城跡の史跡整備の推進については、ガイ
からどのような意見・要望がありますか?	ダンス施設整備の要望が議会からあり、これに先立つものとして推進する必要がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
前午及び計画相木	計画相求を支げて引うた共体的な改革 以音の状態

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
			成果向上余地がない

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由

⑪目標達成に向けて必要となる取組内容

- ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大会等への参加を全 ①新型コロナウイルスの5類感染症への移行により、今後は大会等
- ができなかった。 ②唐沢山城跡の保存整備について、収集した全国的な事例を参考・
- て見送ったため、協議会加盟市町村との情報交換の機会を得ることへ積極的に参加して、協議会加盟市町村との情報交換等の機会を増 やすことができるようにする。

活用して実施することができた。

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車務車業マネジメントシート

					77-1	DTAI	ハンハンドン	/	-			
車型	务事業名	田	中正道	き未り	\$開書簡編纂事業			本年度担当課	文化財課			
丁 /3	7 争未							前年度担当課	文化財課			
	基本目標	票02	新た	な流れ	れの創造による馴	最わうまちづく	IJ			新規·継続	継続事業	
政策	政策	03	歴史	・文化	化を守り育てるま	きちづくり				実施計画・一般	一般事業	
体系	施策	02	02 歴史・文化資源の保存と継承							市単独·国県補助	市単独事業	
	基本事業	業 01	歴史	・文化	化資源の調査と通	適切な保存・継	承		業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営	
科目	一般	хх	XX	хх	田中正造未公開	書簡編纂事業			分	事業分類	その他内部事務事業	
車	茶計皿		¥	4 年 由	: 編 [1 2년]	事業期間	 平成25年度 ~			市長公約	該当なし	
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成25年度 ~										総合戦略	該当なし	
根拠	根拠法令・条例等											

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

_(.	1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	\$)	
	田中正造翁没後百周年顕彰事業の一環として、田	未公開書簡等の調査							
	中正造の行動を思想を後世に伝えるため、没後百	・博物館購入資料 なし	,						
	年となる平成25年度から、正造関係資料の調査を	・博物館寄贈資料 なし	,						
	行い、正造翁の偉業を顕彰する。								
	予算は、認められていないが、今後も資料収集と								
	調査は続ける。				ᇟ左☆	D4 /= ris	DC 선 선	D0 /= ri=	D7 /= ri=
		活動指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		田中正造未公開資料数		点	<u>(実績)</u> 0	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		山下正坦不五册其代数		т.	0				
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
	正造関係博物館収蔵資料			24 /T	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		正造関係博物館収蔵資料	4	点	14, 292	14, 294			
目									
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)						
	正造ゆかりの博物館として、正造関係の未公開書 簡等資料を継続的に調査し、正造の思想、行動を	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	探求する。	正造関係博物館収蔵資	±	目標					
		料	点	実績	14, 292	14, 294			
				目標					
				実績					
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)								
	歴史・文化資源を掘り起こす。 歴史・文化資源を適切に保存し継承する。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		新規指定・登録文化財	件	目標		6			
		件数	IT	実績	3	1			
		指定文化財維持管理・	件	目標	40	46			
		保存修復件数		実績	48	48			

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0	0			0		0		
		一般財源	千円		0	0			0		0		0
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費												
入	頁	事業費の											
量													
			千円										
		内訳											
	人	職員従事工数	人工		0		0		0	0		0	
	件	人件費計(B)	千円		0		0		0	0		0	
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		0		0		0		0		0

事務事業名	田中正造未公開書簡編纂事業	本年度担当課	文化財課
事份争未有		前年度担当課	文化財課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、	平成20年3月に岩波書店から発行された『田中正造 未発表書簡集』以降の未公開書簡に ついて、いくつか発見されているものがあるため、没後百年顕彰事業の一環として今後も調
どのようなきっかけで開始しましたか?	査を行い、博物館においてまとめたものを刊行することで、正造の偉業を顕彰する。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	東日本大震災等による原発問題や環境問題への関心が高まっているとともに、没後百年を契
県などの法令等、社会情勢など)は	機として、正造翁の偉業を顕彰する重要性が深まってきているため、正造関係の未公開書簡
事務事業の開始時期と比べてどのように	等をまとめ刊行することは、顕彰事業を行ううえで重要となっている。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	広報さの、新聞等で正造関係資料について呼びかけたところ、少なからず情報提供が実際に
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	来ている。また、この事業は、市民、市議会議員等で構成する田中正造翁没後百年顕彰事業
からどのような意見・要望がありますか?	実行委員会で、承認を受けた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果		評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組			
		現状維持により対象外			

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地	
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない	
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果	
類似事務事業はない			取組むことができなかった	
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地	
新資料の収集が少なく、調査も進まなかった。 成果向上余地がない				
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容	
年姿型の原集が小たく 国本土進	士たかった	節部車業の日的でもる「正準公の	倍要も広め シノ洛冊ににって」	

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
新資料の収集が少なく、調査も進まなかった。	顕彰事業の目的である「正造翁の偉業を広め、永く後世に伝える」
	ためには、継続的に資料収集を行うことが必要である。田中正造関
	係資料購入事業とともに調査内容を取りまとめ刊行できれば、一定
	の成果として事業終了となる。

(1)事		1)事務署)事務事業の評価結果		(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				事業終了	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0		指定管理事業へ移行	
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地		地			